

鈴木直道 CMの裏話

牛乳飲みっぱなしで3時間! 初のCM撮影に挑戦

知事がチームナックスの森崎博之さんと共演した「モ〜ニングルーティンプロジェクト」のCM、皆さんはご覧になりましたか?コロナ禍で牛乳の消費拡大を推進するプロジェクトの一環で、年末年始には道民の皆さまのご協力のおかげで、生乳の廃棄を回避することができました。

ところで、このCMでは、いつもスーツ姿の鈴木知事が、Tシャツ・ジーンズというラフな服装だったため、本人だと気づかない人も結構多かったとか。初のCM撮影に臨んだ鈴木知事にその感想を聞きました。



Q.初のCM撮影はどうでしたか?

まず、スーツを着ていないことに緊張しました。お腹が出ていないかな、とか…。私服を着る機会がないのでジーンズを履くのも、たぶん3年ぶりくらいです。



Q.森崎さんと共演されて、いかがでしたか?

北海道のイベントでよくお会いしていました。撮影以外でも笑顔で、いろんな方を気遣ってくれるんです。私がセリフを囁んだときも「知事、かわいいですね」と周囲を笑わせてくれたり、本当にテレビで見るときの温かい方です。

Q.苦労したところはあるですか?

撮影には3時間くらいかかったのですが、この牛乳の入ったグラスがだんだん重く感じてきて、最後には手がプルプルしました。

Q.牛乳はどれくらい飲みましたか?

飲むたびに注がれていたのでも正確にはわかりませんが、だいぶ飲みました。道庁では会議や来客時は牛乳を出すようにしているので、一日中牛乳を飲んでいました。今ではすっかり私も朝晩の牛乳が定番になりました。

CMをご覧になりたい方は
こちらから→
ミルクランド北海道HP



後援会ニュース

コロナ禍でもつながろう!オンライン後援会

今回、急ぎょオンライン開催に手を挙げてくれたのは「実現する会・宗谷」。団結力が強み、との言葉通り、機材のセッティングもあっという間でした。



「オンライン化の強みを実感。ゼロカーボン北海道と共に、との声も心強く感じました」(事務局)

「実現する会」設立総会に鈴木知事が出席

地域への往来の自粛が緩和され、ようやく地域への訪問が叶うようになりました。実現する会の設立にご尽力いただいた皆さま、ありがとうございました。

●実現する会・滝川



「皆さまから鈴木知事の健康を気遣う優しいお言葉を頂きました」(事務局)

●実現する会・南幌



「お一人お一人と言葉を交わすことができて知事もうれしかったです」(事務局)



これから知事と共に皆さまのもとへお伺いします。鈴木直道事務所 大崎・土井

鈴木直道

2022
SUMMER

Report
Vol.5

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 5号

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

私が北海道知事に就任してから3年が経ち、早いもので任期最終年度を迎えました。

就任直後より2年以上にわたり、新型コロナウイルスとの闘いが続いておりますが、引き続き道民の皆さまに安心を取り戻すことを最優先に取り組んでいるところです。

コロナ禍という困難な時代ではありますが、北海道の価値をさらに磨き上げるため挑戦し続けてきました。困難な時代にこそ、新たな発想が生まれ、将来につながる変革が生まれます。道民の皆さまと手を取り合っ、北海道のさらなる飛躍を目指してまいります。

これからも、皆さまのお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

「守りと攻め」で切り拓く 新たな北海道



プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選

令和4年度の重点政策は「守りと攻め」

鈴木道政では、コロナ対策を進めるとともに、コロナ禍における社会情勢や人々の行動の変化をこれからの北海道にどう活かしていくか、という課題と常に向き合ってきました。令和4年度の重点政策には「守り」の視点と「攻め」の視点の両輪で、地域の強みを活かしながら北海道を前に推し進めていくという新たな挑戦がテーマです。

守り

道民の命と暮らしを守る 感染症に強い安心安全な地域づくり

医療提供体制のさらなる充実、スムーズなワクチン接種の促進などコロナ対策に加えて、コロナ禍で影響を受け続けてきた方々への支援や、近年頻発している自然災害への備えなどが盛り込まれています。

攻め

北海道の強みを活かした 先進的な取り組みへの挑戦

ウイズコロナに向けた新しい北海道デジタル化、ゼロカーボン北海道など、新しい時代を目指す視点が盛り込まれています。

令和4年度の重点政策の詳細はこちらから



毎日更新、
140文字で
いち早く情報をお届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを!



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



鈴木直道レポート 5号

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和4年6月発行



コロナ禍で再発見！ 北海道さらなる飛躍のカギ

コロナ禍で生まれた新しいニーズやライフスタイルにいち早く対応することで、活力あふれる北海道へ転換。

1. 道産食品の販売

課題

どさんこプラザ
II
北海道物産の販売店

2. ワーケーション

課題

コロナ禍で密を避けたい・
テレワークで移住希望という
新しいニーズに対応

3. デジタル化

課題

広大な北海道は
地域課題への対応が
多岐にわたる

ブランド力の高さを
マーケティングに活用！

都道府県別 魅力度 **1位** 道民の愛着度 **1位**
アンテナショップ売上高 **1位** (有楽町店・7億円超)
ふるさと納税額 **1位** (個人・企業ともに2年連続)

鈴木道政に
おける
取り組み

どさんこプラザは
情報発信拠点へ

情報を駆使した
物販ネットワークの構築



魅力ある商品を発掘、
企業と連携して販売

フェア売り上げは
前年の約2倍！

ネット通販の充実で
巣ごもり需要をキャッチ



マーケティング情報を
活用したアプリ開発中

情報発信力の強化で
国内外への販路拡大へ

コロナ禍での
需要をキャッチ

道外企業の移転数が急増 (増加数 全国 **1位**)
サテライトオフィス開設数 **1位** (3年連続)

鈴木道政に
おける
取り組み



日本一広い北海道、
働き方に合わせて選べるオフィス



個々のニーズにあわせ
オフィスを提供

Wi-Fi環境の整備で
どこでもPCが繋がる



平日はテレワーク、
休日は北海道を満喫

人々との縁を結び、
ワーケーション日本一へ

官と民が連携して
デジタル化を推進！

データセンター日本 **1位** を目指す
ドローン技術の強みが最大限に活かせる

鈴木道政に
おける
取り組み

デジタル化による
地域課題の解決



国内最大規模のデータ
センターの誘致を目指す

道が楽天・日本郵政と
連携協定



働き方改革
にも一役

道職員による「スマート
道庁」で業務効率化

将来ビジョン

スマート農業、野生鳥獣対策、森林管理、
災害や大雪で孤立した地域への支援などに
ドローンを活用



地域課題を迅速に共有し、
地域活性化を後押し

鈴木道政から「はじめの一步」
ゼロカーボン

◎ゼロカーボン北海道って何？

最近昔に比べて大きな気候の変化が話題になっています。北海道にも来るようになった台風や、かつてないほどの豪雪が、大きな被害をもたらしたことは記憶にも新しいところです。現在、世界では大きな気候変動をくいめようと二酸化炭素を減らす取り組みが始まっています。日本では2021年に北海道がいち早く手を挙げ、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」を宣言しました。再生可能エネルギーの宝庫である北海道だからこそできる取り組みを、日本の先陣を切って始めます。

※ゼロカーボン北海道の詳細はこちらから→
(道ゼロカーボン推進局HP)



第一歩は行動と意識を変えよう

二酸化炭素排出量の削減に向けて、鈴木知事自身もプラごみの削減やエコバック・マイボトルの持ち歩きを実践し、道民一人一人にできることから変える意識を持ってもらうようSNSなどで積極的に発信しています。



エネルギーの地産地消を推進しています

北海道は太陽光などの再生可能エネルギーの潜在力が日本一。地域に合ったエネルギーを、地域で使うことができるように、道が支援をしています。

地域電力会社の設立も加速されています



全国初！鈴木道政で 建設業のゼロカーボン推進

北海道・開発局・札幌市が連携し、建設業における脱炭素化を後押ししています。新年度からゼロカーボンの取り組みを行った建設業者に対し、入札参加資格に関わる成績評価において加点評価する制度を導入しました。全国に先駆けて実現したもので、今後も改善を重ねながらゼロカーボン北海道実現に向けた機運の醸成に努めます。



赤れんが庁舎の改修工事現場を視察

BIGBOSSこと新庄剛志監督と初対面しました。応援の気持ちを込めて道産品をお届け。大学の先輩にあたる稲葉篤紀GMとも久しぶりに親交を温めました。がんばれ、北海道日本ハムファイターズ！

ガーデンフェスタ北海道2022

第39回全国都市緑化北海道フェアが、道内では36年ぶりの開催となりました。鈴木知事が開会式に参加したときの様子は、こちらからご覧いただけます→

ボランティアスタッフの皆さまや地域にもご協力いただき、約1ヵ月で30万人の来場者を達成しました。

中心行事である全国都市緑化祭では、佳子内親王殿下のご臨席を賜りました。お手植えされたエゾヤマザクラの開花が楽しみです。

ちょっと寄り道

お食事処「ぼれん」であったかご飯

同店は北海道庁の清掃業務を担当する北海道母子寡婦福祉連合会が運営しています。庁舎をいつもきれいに気持ちよく過ごさせていただいていることへの感謝を伝えるとともに、知事自身もひとり親家庭で育った経験から「ひとり親家庭の皆さんが相談できる場は大切ですね」とスタッフの皆さんとお話していました。

道母連が運営するお店は新千歳空港にもあります。出発ロビーにある「カフェテラスBOREN」は、ソフトクリームが人気で、鈴木知事が出張の際に応援を兼ねていつも立ち寄るスポットです。

日頃より当会の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

皆さまのご尽力のおかげで、鈴木知事は任期最終年度を迎えることとなりました。現在、北海道のポテンシャルを最大限に生かす「ゼロカーボン北海道」などの新たな課題に日本の先陣を切って挑む鈴木知事を、今後も精一杯応援してまいります。皆さまにおかれましても、なお一層の応援をよろしくお願い申し上げます。

活力あふれる北海道の未来を実現する会

似鳥 昭雄会長

毎日更新、140文字でいち早く情報をお届けします

鈴木知事の活動をじっくり読みたい方はこちらを！

北海道大好きな鈴木知事の日常を写真で掲載しています

鈴木直道レポート 6号

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和4年9月発行

鈴木直道

2022 AUTUMN

Report Vol.6

〔活力あふれる北海道の未来を実現する会会報〕
鈴木直道レポート 6号

地域との強固なスクラムで 活力あふれる 北海道へ。

ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

ようやく感染対策を実施しながら皆さまにお会いすることや、地域への訪問が可能となりました。任期1年目よりコロナ禍のなか、リモートなどで地域との関わりを大切にしてきた中で、ようやく会えたときのうれしさはひとしおです。

任期最終年度、引き続き道民の暮らしや経済を守るため、緊急経済対策にしっかりと取り組むとともに、今後のポストコロナ社会の到来を見据え、本道の強みを活かしたゼロカーボン北海道の実現やデジタル技術の活用による地域課題の解決を推進してまいります。皆さまと一緒に活力あふれる北海道を実現するため、今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身（本籍は夕張市）。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選

函館市

下川町

新冠町

音更町

えりも町

長万部町

別海町

価格高騰等緊急対策に857億円を計上

長期に及ぶ感染症に加え、ウクライナ問題、急激な円安などによる物価高騰が道内経済へ与える影響を鑑み、コロナ禍における価格高騰等緊急経済対策費（総額857億7000万円）を策定しました。鈴木知事が地域の声を政策に反映させ、道民の皆さまの暮らしと経済をしっかりと支えます。

●緊急対策の内訳

エネルギー・原材料・食料等安定供給対策	82.9億円
厳しい経営環境にある中小企業への支援	725.7億円
物価高騰等に直面する生活困窮者などへの支援	49.1億円

留萌 >>>子育て支援

幅広い年代の子どもが楽しめる遊具を備えた屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」を訪れました。「道の駅るもい」内にあり、天候に関係なく多くの人が集まることができ、親世代の交流や域外からの誘客効果が期待されています。



留萌市のゆるキャラ KAZUMOちゃん

子育て支援 **5万円+1万円(道独自)**

物価高騰により経済的に影響が大きい低所得の子育て世帯に給付金を支給

夕張 時代に計画した子育て施設へ

夕張市長時代に建設を計画し、昨年オープンした「ゆうばり丘の上こども園」を訪れました。幼稚園と保育所機能を兼ね備えた施設で、子ども一人ひとりが笑顔を絶やさず、育っていくことを期待しています。



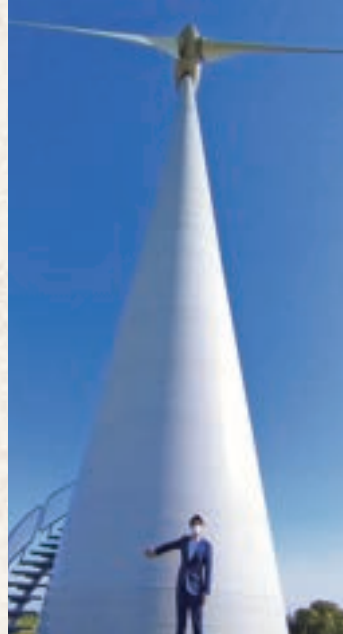
物価高騰支援 **3.2億円**

給食費の保護者負担軽減に向けた原材料等の経費支援

根室 >>>北方領土

新型コロナウイルス感染症、さらにはロシアのウクライナ侵攻の影響により、四島交流等事業の実現が当面見通すことができない状況の中、岸田総理に「せめて四島の近くで慰霊したい」との切実な元島民の思いに応えることを強く求め、初となる洋上慰霊が実施されました。

7月23日に第1回目の歯舞群島コースに乗船し、道民を代表して、追悼の辞を述べるとともに、全国から集まった元島民の方々と言葉をかわし、北方領土問題解決に向け全力で取り組んでいくことを誓いました。

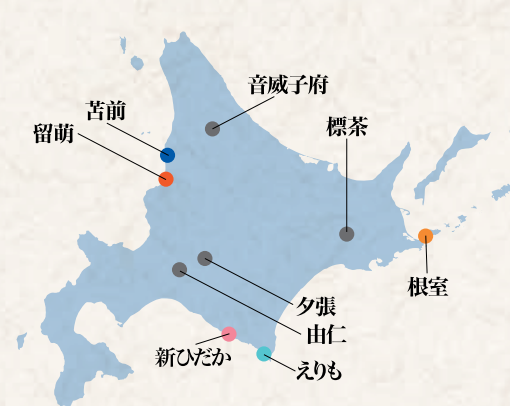


苫前 >>>自然エネルギー

自然エネルギーにより二酸化炭素削減に貢献している「夕陽ヶ丘風力発電所」を訪れました。今夏は首都圏などで電力不足が懸念されましたが、北海道では電力需要を供給が上回り、今後も洋上風力発電など自然エネルギーの増加が見込まれています。再生可能エネルギーのさらなる有効活用に向けて、北海道と本州をつなぐ海底送電ケーブルの建設計画も進められています。

緊急時に本州と北海道の間で
お互いに電力を
融通可能にします

再生可能エネルギーを
活用する企業の立地が
国内外から進みます



新ひだか町の高校生が描いたシャッターアートを視察

新ひだか >>>教育振興

商店街のシャッターに絵を描き、地域の活性化を図る取り組みで「北海道知事賞」に輝いた新ひだか町の静内高校を訪問。学生たちの間で人気のポーズも教えてもらいました。



音威子府

おといねっぶ美術工芸高校は専門性の高い授業が人気で、道外から入学者も多い



標茶高校では生徒の興味・関心に合わせた70以上の講義を展開

標茶



えりも >>>赤潮対策

主要魚種の不漁、コロナ禍による消費低迷に加え、昨年9月に発生した赤潮被害により、水産業を取り巻く環境はかつてないほどの厳しい状況が続いています。現場を訪問し、えりも漁協関係者の皆さまからご意見を伺いました。

令和3年度補正予算 **北海道赤潮対策緊急支援事業費**として**15億円**を措置

省エネ設備の導入支援 **漁業協同組合省エネルギー化推進事業費に1.7億円**を措置

由仁 ご存知ですか？「由栗いも」



インスタで食レポ、おいしさも発信



道では、北海道の新たな特産品となりうる作物を「戦略作物」として、産地拡大を推進しています。その一つが、由仁町の若手農業者が生産・販売するさつまいも「由栗いも」。こうした取り組みを道内各地で加速させ、食の魅力さをさらに発信していきます！

農産物への価格高騰対策 **20.1億円**

道内農家の肥料代負担軽減のため農業者に対し、肥料購入支援金を給付

子どもたちの未来へ **鈴木知事が都道府県で3番目となる「ケアラー支援条例」制定**

こころやからだに不調のある家族の介護や援助を無償で行う「ケアラー」。特に18歳未満の「ヤングケアラー」は、本人に自覚がなかったり、支援が必要でも表面化しづらく孤立化してしまったりする傾向にあります。子どもたちの成長や学びのために、地域での理解を深めサポートにつなげる取り組みが始まりました。

北海道ヤングケアラー相談サポートセンター
☎ 0120-516-086

